

平成 20 年度再評価対象事業一覧表 (再評価実施後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)  
 (対象：平成 15 年度再評価実施事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	CO2削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)
	再評価 時点 H15	玉島川(横田川)広域一般河川改修事業 事業主体：県 事業地：浜玉町	流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 計画流量 100m <sup>3</sup> /s 計画治水安全度 1/30	全体事業費：C=46億円 工期：H5～H27 改修延長：L=2,360m 計画流量：100m <sup>3</sup> /s 計画治水安全度：1/30 事業内容：掘削・築堤・護岸、橋梁7基、JR橋梁1基、サイフォン1基	玉島川合流点から浜崎橋下流までの約450mについては、セメン川合流点付近を除き完了している。 用地はJR橋下流において、浜崎橋関連部分を除き完了している。それより上流部の用地は未買収である。 橋梁1基が完成。 (H14末進捗率 37%) (事業費ベース) (年平均進捗率 3.7%)	(過去の災害実績) H3.9 浸水戸数 11戸(114) 農地浸水面積 不明ha(126) ( )は浜玉町全体の数字 (地域の状況) 流域内では、民間宅地開発が行われている。また、西九州自動車道の整備が進捗するなど、今後ますます都市化が進展するものと思われる。	事業採択時と比較し、費用対効果の要因の大きな変化はない。 現在(B/C) 1.9	(コスト削減) ・再生材の積極的利用 ・建設副産物の有効利用  (代替案の検討) ・特になし	10年以上継続	継続
	現時点 H20	事業地：唐津市		全体事業費：C=46億円 工期：H5～H32 改修延長：L=2,360m 計画流量：100m <sup>3</sup> /s 計画治水安全度：1/30 事業内容：掘削・築堤・護岸、橋梁7基、JR橋梁1基、サイフォン1基	玉島川合流点からJR橋下流までの約650mについて、セメン川合流点部を除き完了している。 用地はJR橋まで完了している。それより上流部の用地は未買収である。 橋梁2基が完成。 (H19末進捗率 49%) (事業費ベース) (年平均進捗率 3.3%)	(過去の災害実績) 同上 (地域の状況) 流域内では、民間宅地開発が行われている。また、西九州自動車道の整備が進捗するなど、今後ますます都市化が進展するものと思われる。	最新のマニュアルに基づき、費用対効果(B/C)を算出した。  一般資産被害額 農作物被害額 公共土木施設等被害額等 B=15,156百万円 総費用額 C=5,510百万円 現在(B/C) 2.8	(コスト削減策) ・再生材の積極的利用 ・建設副産物の有効利用  (代替案の検討) ・JR橋改築については、大規模な工事で、費用もかかるため、コスト削減が図れる分水路等の代替案を検討している。	再評価実施後5年が経過	平成3年洪水被害を軽減するため、流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、地域住民の安心・安全を確保するためには、当事業の継続が必要である。
	理由等				・JR橋改築の代替案検討に時間を要したことや財政状況の悪化で年度事業費が減となったことによる工期延長。					

